

# 大事の前に治療を 睡眠時無呼吸症候群

## タク業界 低受診率上げよ

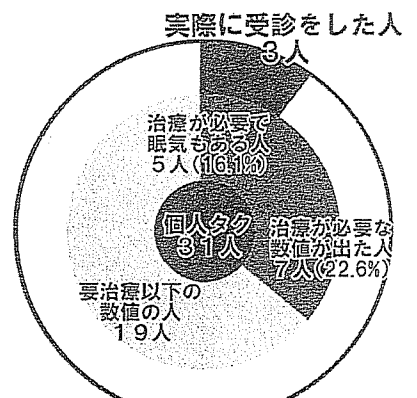
タクシやバスなどの職業ドライバーの健康被害が多くなると懸念されている。中でもSAS(睡眠時無呼吸症候群)は、関越道バス事故のきっかけ、墜入事故につながる可能性が大きい。SASは、睡眠時呼吸が止まる状態を指している。タクシには、睡眠時呼吸障害が、自覚症状が無く、鉄道・バス業界では、SAS検査を義務化している。タクシには、睡眠時呼吸障害が、自覚症状が無く、鉄道・バス業界では、SAS検査を義務化している。タクシには、睡眠時呼吸障害が、自覚症状が無く、鉄道・バス業界では、SAS検査を義務化している。



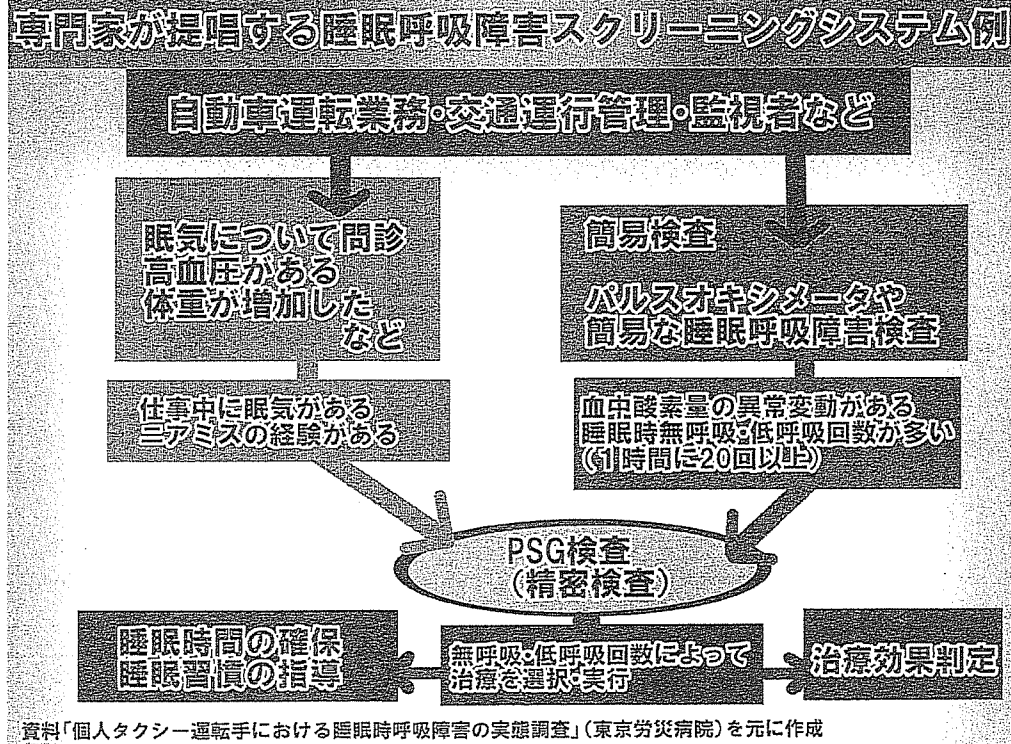
戸島洋一氏

個人タクシの睡眠時呼吸障害の発症率は約10%に達している。SASを含む睡眠時呼吸障害の発症率は約10%に達している。SASを含む睡眠時呼吸障害の発症率は約10%に達している。SASを含む睡眠時呼吸障害の発症率は約10%に達している。

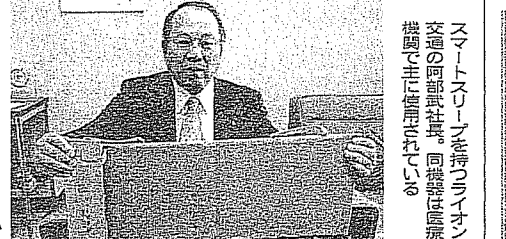
い。同氏は「個人タクシも公共交通機関。SAS検査が必要」と警告。同氏は「個人タクシも公共交通機関。SAS検査が必要」と警告。同氏は「個人タクシも公共交通機関。SAS検査が必要」と警告。



検査結果でAHI(無呼吸の重症度)が高い人は、12人中8人が受診しなかった。検査結果でAHI(無呼吸の重症度)が高い人は、12人中8人が受診しなかった。検査結果でAHI(無呼吸の重症度)が高い人は、12人中8人が受診しなかった。



資料「個人タクシ運転手における睡眠時呼吸障害の実態調査」(東京労災病院)を元に作成



ライオン交通 独自対策に成果 検査機器導入し未然に防ぐ

ライオン交通は、睡眠時呼吸障害の検査機器を導入し、未然に防ぐことに成功した。ライオン交通は、睡眠時呼吸障害の検査機器を導入し、未然に防ぐことに成功した。

ライオン交通 独自対策に成果 検査機器導入し未然に防ぐ

ライオン交通は、睡眠時呼吸障害の検査機器を導入し、未然に防ぐことに成功した。ライオン交通は、睡眠時呼吸障害の検査機器を導入し、未然に防ぐことに成功した。

春の交通安全運動特集